

海洋理工学会 2025 年度秋季大会プログラム

10月27日(月)

11:50- 受付開始

12:30-16:55 シンポジウム @東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館 1F 大会議室

11:50-16:55 企業展示 @東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館 2F 小会議室

シンポジウム「空中ドローン (UAV) で海を知る」

12:30-12:45 趣旨説明/田原 淳一郎 (東京海洋大学)

12:45-13:25 基調講演 港湾における災害時のドローン活用に向けて

鈴木 遼 (国土交通省 港湾局 海岸・防災課 災害対策室)

13:25-14:00 S1. 海中・海底観測における“海面プラットフォーム問題”を解決するための着水 UAV

横田 裕輔 (東京大学生産技術研究所 海洋観測実装工学研究センター)

金田 政太 (株式会社ハマ)

14:00-14:20 休憩【賛助会員 6 社 企業展示コアタイム @楽水会館 小会議室】

※会場にてドリンクのサービスあり

14:20-14:55 S2. UAV による沿岸域の高精度リモート観測の試み

—地形・海岸線・波浪・推進の多面的把握

吳 連慧 (東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門)

14:55-15:30 S3. グリーンレーザーを用いた藻場計測および解析手法の検討

吉田 光寿 (株式会社エコー 沿岸環境部)

15:30-16:05 S4. 無人ヘリコプターを用いた西之島の遠隔観測

多田 訓子 (国立研究開発法人海洋研究開発機構 海域地震火山部門)

市原 寛 (名古屋大学大学院 環境学研究科 附属地震火山研究センター)

16:05-16:25 休憩【賛助会員 6 社 企業展示コアタイム @楽水会館 小会議室】

※会場にてドリンクのサービスあり

16:25-16:55 総合討論/コンビナー:田原 淳一郎 (東京海洋大学)

パネリスト:シンポジウム講演者

17:30-19:30 イブニングセッション@ 会 場:博多でベソ

アクセス:楽水会館より徒歩7分程度(品川フロントビル 2F)

賛助会員による企業展示:

JFE アドバンテック株式会社、株式会社鶴見精機、株式会社ゼニライトブイ、ミサゴ株式会社、株式会社ハマ、株式会社アクアサウンド

(順不同・敬称略)

10月28日(火)

12:00- 受付開始

13:00-18:25 一般講演 @東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館 1F 大会議室

12:00-17:00 企業展示 @東京海洋大学 品川キャンパス 楽水会館 2F 小会議室

※企業展示会場にて、ドリンクのサービスがあります。是非お立ち寄りください。

一般講演

※講演者は、○または☆です。☆は優秀発表賞選考対象です。

※本プログラムに記載の講演者所属は、申込時にご提供いただいた情報に基づき作成しております。表記の統一や省略は行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

12:55-13:00 趣旨説明/田原 淳一郎(東京海洋大学)

13:00-14:00 マイクロプラスチック、環境汚染 座長:江淵 直人(北海道大学低温科学研究所)

A1. 鶴見川河口干潟のタカノケフサイソガニ胃内におけるマイクロプラスチックの分布

☆ 新田 悠磨(東京海洋大学大学院)、田野入 開(産総研)、横田 賢史(海洋大)

A2. 沿岸域におけるマイクロプラスチックの時空間分布評価に向けた沈降速度の推定

☆ 吉武 珠穂(産業技術総合研究所・ネイチャーポジティブ技術実装研究センター)、石川 百合子(産業技術総合研究所・安全科学研究部門)、堀口 文男(産業技術総合研究所・安全科学研究部門)、内藤 航(産業技術総合研究所・ネイチャーポジティブ技術実装研究センター)

A3. 海洋生物の空間的生活様式を考慮したマイクロプラスチックの確率論的リスク評価

☆ 田野入 開(産業技術総合研究所)、岩崎 雄一(産総研)、内藤 航(産総研)

14:00-14:25 賛助会員 5社 企業紹介

JFEアドバンテック株式会社、株式会社鶴見精機、株式会社ゼニライトブイ、ミサゴ株式会社、株式会社アクアサウンド

14:25-14:35 休憩

14:35-15:35 生態系、生物モデリング 座長:市川 哲也(株式会社サイエンスアンドテクノロジー)

A4. 大型再処理工場近傍における汽水-沿岸海域のヨウ素-129濃度

○ 植田 真司(公益財団法人環境科学技術研究所)

A5. Dynamic Energy Budget (DEB)モデルによるキタムラサキウニの生息域別の栄養状態の推定

☆ 丸山 港太(東京海洋大学大学院)、横田 賢史(海洋大)

A6. 流入負荷に対する炭素吸収のメカニズム - 河口域・湾央域・干潟域の差異 -

☆ 川人 康平(大阪公立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 環境水域工学研究室)・相馬 明郎(大阪公立大学大学院)

15:35-15:55 休憩・企業展示コアタイム

賛助会員 6 社 @楽水会館 2F 小会議室

※会場にてドリンクのサービスあり

15:55-16:55 計測技術、観測手法

座長:川口 勝義(国立研究開発法人海洋研究開発機構)

A7. 空中・水中画像統合による簡易・詳細な海底マッピング手法の開発 -空中画像クラスタリングアルゴリズムの検討-

☆ 橋本 英明 (東大工学部)、水野 勝紀 (東大大学院新領域)、阪本真吾・杉本憲一 (株式会社ウイディネットワーク)

A8. Laboratory Quantification of Clam Burrowing Activity Using 3D Ultrasound Coring Technique

☆ Liang Weizhen・Katsunori Mizuno (GSFS, UTokyo), Yohei Uehara (Shizuoka FRI), Yoshimoto Saito・Kazutoshi Okamoto (MaOI)

A9. ROV による海底近傍層の動物プランクトン採集の取り組み

☆ 平岡 礼鳥・小松 伸行 (株式会社日本海洋生物研究所)、平田 敦洋 (独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構)

16:55-17:05 休憩

17:05-18:25 地球・海域観測、予測モデル

座長:田原 淳一郎 (東京海洋大学)

A10.気候変動緩和と生物生産性向上の予測と評価のための生態系モデリング:OECD サイトへの適用

☆ 丸尾 哲平・市川 哲也 (株式会社サイエンスアンドテクノロジー)、佐藤 達明 (株式会社建設技術研究所)、相馬 明郎 (大阪公立大学大学院)

A11.下水処理制御と社会経済活動を統合した海域への栄養塩流入負荷予測モデル

○ 武田 茂樹・相馬 明郎 (大阪公立大学大学院)、林 正能 (株式会社サイエンスアンドテクノロジー)

A12.SBE4 電気伝導度センサの自動校正システムの開発

○ 馬場 尚一郎 (国立研究開発法人海洋研究開発機構)、川上 創 (海洋研究開発機構)、田中 辰弥、廣田 聡子、岩崎 海、横田 牧人 (マリンワーク・ジャパン)

A13.長期孔内観測による 2024 年日向灘地震前後の歪変化: 南海トラフ臨時情報への利活用

○ 有吉 慶介・荒木 英一郎・松本 浩幸・町田 祐弥・辻 修平・横引 貴史・西田 周平・肥前 大樹・矢田 修一郎・猿橋 具知・飯沼 卓史・青池 寛・中村 恭之・藤江 剛・堀 高峰 (海洋研究開発機構)

18:25-18:30 優秀発表賞 表彰 (☆発表者が選考対象)

18:30-18:35 閉会/会長 川口 勝義 (国立研究開発法人海洋研究開発機構)